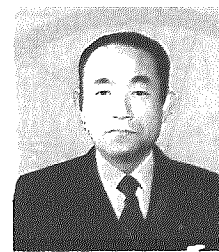


# 人と緑と産業の調和した町づくり



町長 青木 太一郎

現在の地方行政を取り巻く問題は、あまりにも多く山積しており、とりわけ、緊要とされる課題として、地方財政の確立があります。昭和六十一年度国家予算の編成において、政府は前年度に引き続き地方財政への国庫補助負担率の引き下げを行い、その結果地方負担が増加することになり、今後地方財政においては極めて厳しい財政環境下での行政運営を余儀なくされています。本町も厳しい姿勢で臨まなければなりません。

この困難な状況を十分認識し、町民の行政ニーズにこたえ、時代の進展に対応すべく、確固たる信念のもとに、施策を展開する積極的な姿勢も、町政を執行する者のつとめであり、基本的な要件と心得ております。

本町は新潟市の隣接町として、

高速交通の要衝として、この恵まれた立地条件を精一杯生かすとともに、二十一世紀にはばたく青年都市「くろさき市」を目指し、今年こそ町づくり元年として位置づけ、第三次基本構想にもられた

- 一、豊かで活き活きするまち
- 二、緑あふれる快適なまち
- 三、文化の香り高いまち
- 四、健康で心ふれあうまち
- 五、行政と住民が一体となったまちづくりを推進するため、みんなが参加して、こよなく愛するわが郷土の発展のために精一杯汗を流したい。

これをモットーに国の諸制度を有効に活用しつつ、「人と緑と産業の調和した豊かな文化あふれる黒埼町」建設に向かって、ご自身の努力をいたす所存であります。

以上の所信を基調に新年度予算編成にあたりましては、予算の通年性を原則に、町政推進の重要項目として、

- 一、生活環境の整備充実
- 二、農商工業のバランスのとれた振興と産業基盤の確立
- 三、教育ならびに文化、スポーツ施設の整備と青少年の健全育成
- 四、住民福祉の増進と健康づくりの四点を大きな柱として、財源の効率的配分を行った次第であります。

三月議会施政方針演説から

## 人件費10億円

特別職給料据え置き

## 総務費 11億6347万7千円

(前年度比+6281万8千円)

総務費は予算総額の34%を占めます。たいはんは人件費(町長、助役、収入役、教育長と213人一般職員)で総額10億532万円です。なお、この人件費には特別会計のガス水道局(22人)、国民健康保険(3.5人)、老人保健(1人)は入っていません。また、町長、助役、収入役の三役と教育長の給料は前年度と同じ額に据え置かれています。

新たな予算として、総合計画を実施するための実施計画に270万円、新春座談会テレビ放映30万円などを計上しました。

- ・特別職給料(町長、助役、収入役) 1810万8千円
- ・教育長給料 478万8千円
- ・職員給料(213人) 5億4150万5千円
- ・職員手当など 3億257万8千円
- ・共済費 1億8623万2千円
- ・町長交際費 330万円
- ・町史編さん費 245万円
- ・総合計画実施計画委託料 270万円
- ・新春座談会放映(テレビ)料 30万円
- ・交通安全対策費 604万6千円
- ・自治会長委託料 616万2千円
- ・広報くろさきなど印刷費 473万8千円
- ・地方鉄道近代化設備整備費補助金65万円
- ・徴税費 1864万8千円
- ・戸籍住民基本台帳費 838万5千円
- ・選挙管理委員会費 99万1千円
- ・参議員議員選挙費 106万4千円
- ・県知事選挙費 48万4千円
- ・各種統計調査費 84万5千円

## 黒鳥保育園の移転新築に補助

## 民生費 2億3766万9千円

(-1億5308万7千円)

前年度木場保育所を新築し(その分今年度予算減)、8つの町立保育所のうち5つが近代的施設になりました。今年は町内唯一の私立保育園で老朽化が激しい黒鳥保育園の新築に力を貸します。建設補助に2600万円計上しました。

また、障害者対策、母子福祉対策や各種福祉団体への助成、社会福祉協議会の強化に今年度も努めます。

- ・社会福祉関係負担金及び交付金 671万6千円
- (やひこ学園、社会福祉協議会、遺族会、傷痍軍人会、などへの補助)
- ・広域養護老人ホーム負担金 414万3千円
- ・老人クラブ補助金 193万円
- ・老人憩の家管理費 766万7千円
- ・国民年金事務費 2337万2千円(国民年金印紙購買基金繰出金2000万円)
- ・障害措置費 448万4千円
- ・黒鳥保育園建設費補助金 2600万円
- ・私立保育所補助金 170万5千円
- ・黒鳥保育園委託措置費 2582万8千円
- ・児童措置費 5460万3千円



移転新築される黒鳥保育園

## 健康づくり推進

## 衛生費 2億5757万6千円

(+955万3千円)

町民の健康づくりは町の大きな目標です。今年も総合検診、各種予防接種、人間ドック検診の補助などを行い、新たに健康づくり事業として、健康展(健康祭り)を予定しています。成人病予防では今年度から特にガン対策に力を入れます。

環境衛生施設では、ゴミ収集、処理に十分配慮し、自治会で行う防疫薬剤の購入費は今年度も助成します。

- ・高額療養費資金貸付基金繰出金 300万円
- ・国民健康保険特別会計繰出金 500万円
- ・予防費(各種検診など) 1578万7千円
- ・母子衛生費 1232万8千円
- ・環境衛生費 757万6千円
- ・老人保健特別会計繰出金 5088万8千円
- ・ごみ収集委託料 4524万5千円
- ・新潟地区広域清掃事務組合負担金 1億450万7千円



成人病、今年度からガンを重点的に

## 農林水産業費 3億569万円

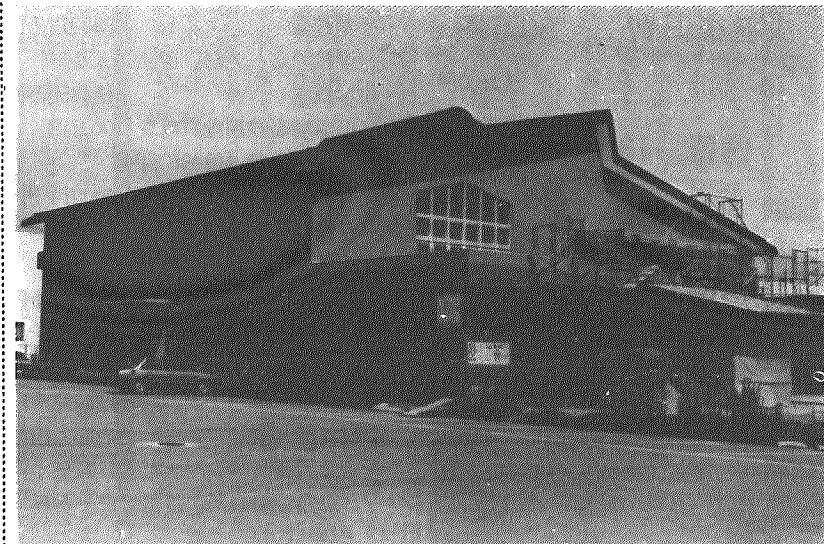
(+5183万円)

59年度に着工した農村環境改善センターが7月に完成する予定です。センターはコミュニティ活動の拠点として利用価値十分です。今年度は水田利用再編対策の第3期対策の最終年です。転作目標達成に農家のかたの協力をお願いします。町は引き続き独自の転作奨励補助金を計上しています。振興協会へ補助するなどして、黒埼茶豆などの特産品づくりに努めます。

農用地高度利用促進事業を継続し、農用地の流動化と規模拡大、経営安定、中核農家の育成などを進めます。新農業構造改善事業では、黒鳥にライスセンターを建設する予定です。

## 環境改善センター完成 黒鳥にライスセンター

- ・農業委員会費 1190万2千円(農業委員報酬 830万4千円)
- ・農用地高度利用促進事業費123万8千円
- ・新農業構造改善事業費 7281万1千円(ライスセンター補助金 6954万円) (コンバイン補助金 102万円)
- ・農業振興費 843万円(農業振興協議会補助金 540万円)
- ・水田利用再編対策費 1308万4千円(転作奨励補助金 1000万円)
- ・農地費 6984万1千円(広域農道関係負担金 1981万6千円) (地盤沈下対策事業負担金1648万4千円) (西蒲土地改良排水費負担金 1439万4千円) (山田土地改良排水費負担金 297万2千円)
- ・農村総合整備事業費 1億2614万1千円



3年ごしの環境改善センター8月にオープン予定

## 黒埼祭りに300万円

## 商工費 1億3929万2千円

(-518万9千円)

消費の伸び悩み、大型店の進出、商圏の拡大など本町の商業は依然として厳しい状況にあります。国県の施策をはじめ、商工振興審議会の意見をとり入れ、活性化への道を探ります。

経営資金対策として、産業育成資金並びに商工業近代化資金貸付業務と、その金利負担の軽減を図ります。黒埼祭りも活性化の一助となればと前年同様補助します。

- ・黒埼町商工会補助金 650万円
- ・黒埼祭り補助金 300万円
- ・産業育成資金貸付金 6600万円
- ・商工業近代化資金貸付金 2500万円
- ・産業育成資金県貸付金元利返還金 3170万円

## 消防費 3219万6千円

(-1011万2千円)

消防施設の整備と消火栓の移設、新設を予定しています。

- ・消防施設の維持管理など 923万8千円
- ・消防団員報酬 467万6千円
- ・消防施設費(消火栓など) 542万6千円



消火栓の移設、新設に375万円